

1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県立倉敷青陵高等学校		
実践者等	武田真弥、柴田純一郎	実践日	令和3年10月6日
実践場面	総合的な探究の時間		
対象生徒（学年等）	1年生		
単元名	メディアリテラシー		
使用したアプリ等	Jamboard、スライド		
実践の概要（ねらい等）	生徒それぞれの意見を Jamboard で集約し、画面を通してクラス全体でシェアする。短時間で行うことで全体の時間の効率化を図る。		
実践の内容			
<p>(1) 前時までの振り返り 『メディアリテラシー』のテーマで行ってきたクリティカルリーディングについて簡単に復習する。</p> <p>(2) 本時の内容を説明 次回から行う『ディベート』をテーマとした内容でのクリティカルリーディングの有用性を考える。</p> <p>(3) 実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ディベートのテーマが与えられ、準備を進めようとしたときの行き詰まりの解決方法を考える。例をあげ、テーマの言葉の定義づけの曖昧さが原因であることに気づかせる。例として『日本政府は宇宙開発に対してもっと予算を投入するべきである。』としたとき、疑問等を各自で考え、指摘させる。 ・5人一班の班を作り、「Jamboard」の付箋機能を使用して疑問点等を入力させる。8つの班のシートを順次提示し、定義づけの曖昧な部分の確認とこれを解決するための定義づけのポイントを探らせる。 ・テーマに対しての情報に対して、事実なのか意見や感想なのかの見極めが必要であることに気づかせる。 ・『ディベート』を行う際の情報収集や立案について、『メディアリテラシー』で学んだ『批判的思考力』を活用できることを確認する。 ・これまでに身につけた力、ディベートや課題研究に向けて、今後身につけなければならない力を「スライド」を用いて穴埋め形式で確認する。 <p>(4) まとめ 短時間で他者の考えを確認でき、言葉の定義づけのポイントを押さえる重要性を気づかせることができた。</p>			
参考となるHP等			

